



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Takashi FURUTA, et al.

Application No.: Unassigned

Group Art Unit: Unassigned

Filed: July 6, 2001

Examiner: Unassigned

For: PROFITS SHARING SYSTEM FOR AGENCY SERVICE, METHOD THEREOF, AND
COMPUTER READABLE RECORDING MEDIUM

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith
a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-398965

Filed: December 27, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the
requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: June 6, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

0P1184

JCS78 U.S. PRO
09/901114



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年12月27日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-398965

出 願 人
Applicant(s):

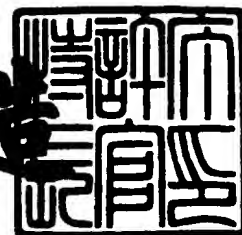
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月30日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0052448

【提出日】 平成12年12月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 仲介サービスの収益分配装置, その方法, 及びコンピュータ読取可能な記録媒体

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 古田 孝

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 片岡 正弘

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 恩塚 新治

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 奥畑 彰夫

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089244

【弁理士】

【氏名又は名称】 遠山 勉

【選任した代理人】

【識別番号】 100090516

【弁理士】

【氏名又は名称】 松倉 秀実

【連絡先】 0 3 - 3 6 6 9 - 6 5 7 1

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012092

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705606

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 仲介サービスの収益分配装置、その方法、及びコンピュータ読取可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶した記憶部と、

前記記憶部に記憶された分配対象金額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出する算出部と、を含む仲介サービスの収益分配装置。

【請求項 2】 前記算出部は、前記所定期間における各サービスの提供回数を記憶する提供回数記憶部と、

計数された各サービスの提供回数をサービスの提供回数の総和で割ることによって各サービスの提供の頻度を算出し、算出された各サービスの提供の頻度を前記分配対象金額に掛けることによって各サービスに割り当てられる分配金額を算出する分配金算出部と、を含む請求項 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

【請求項 3】 前記収益は、1つの契約に従って前記ユーザから徴収される、前記所定期間における前記仲介サービスの使用料の合計である、請求項 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

【請求項 4】 前記分配対象金の額は、前記収益から前記仲介サービスの運営費を減じた額である、請求項 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

【請求項 5】 前記分配金を各サービスの提供者に支払うことを金融機関に依頼する依頼部をさらに含む、請求項 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

【請求項 6】 複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶するステップと、

記憶された分配対象金額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出するステップと、を含む仲介サービスの収益分配方法。

【請求項 7】複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶するステップと、

記憶された分配対象金額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出するステップと、をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項 8】複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供する提供部と、

前記仲介サービスを提供することによって得られる収益のうち、各提供者への分配金の額をユーザに提供したサービスの提供の頻度に基づき算出する算出部と、を含む仲介サービスの収益分配装置。

【請求項 9】記憶部と、制御部とを備える仲介サービスのための情報処理装置における収益分配方法であって、

前記制御部が、

複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供するステップと、

各サービスのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、

前記記憶部に記憶された各サービスの提供回数とサービスの提供回数の総和とから求まる各サービスの提供頻度に基づき、前記仲介サービスによって得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を含む収益分配方法。

【請求項 10】コンピュータに、

複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供するステップと、

各サービスのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、

前記記憶部に記憶された各サービスの提供回数とサービスの提供回数の総和とから求まる各サービスの提供頻度に基づき、前記仲介サービスによって得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を実行させるため

のプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザへの複数のサービスの提供を仲介する仲介サービスの収益分配装置、その方法、及びコンピュータ読取可能な記録媒体に関する。

【0002】

例えば、辞書、書籍、ニュース等の情報、経済情報などのコンテンツをWeb上で有料で提供するコンテンツ提供サービスを仲介する仲介サービスの収益分配装置、その方法、及びコンピュータ読取可能な記録媒体に関する。

【0003】

【従来の技術】

近年、Web上に複数のコンテンツを保持し、保持したコンテンツをユーザ(クライアント)からの要求に従って提供するコンテンツ提供サービスが実施されている。

【0004】

コンテンツ提供サービスの1つには、ユーザがWeb上に設置された辞書コンテンツにクライアント端末装置を用いてアクセスし、提供される辞書コンテンツを用いて所望の情報を検索し、閲覧するWeb検索サービスがある。

【0005】

従来、Web検索サービスは、辞書コンテンツの提供者による独自の仕組みで提供されていた。例えば、辞書コンテンツを提供するためのWebサイトが辞書コンテンツの提供者毎に構築されていた。

【0006】

このため、情報閲覧者(辞書コンテンツのユーザ)は、いずれかの情報ソース(辞書コンテンツ)を前もって選択し、使用する辞書コンテンツを1つに絞っていた。或いは、複数の辞書コンテンツ提供者と辞書コンテンツの提供に関する契約を行い、辞書コンテンツの使用時に、適宜の辞書コンテンツを選択していた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

上記したように、従来では、辞書コンテンツが提供者によって個別に提供されていたため、ユーザは、複数の提供者と辞書コンテンツの使用について契約している場合には、適宜の辞書コンテンツを選択し、選択した辞書コンテンツが設定されているWebサイトにアクセスしなければならなかった。従って、ユーザは、他の辞書コンテンツを使用する場合には、他のWebサイトにアクセス(ジャンプ)しなければならなかった。また、辞書コンテンツの夫々は、提供者独自の使用環境(操作環境)にて提供されていた。このため、ユーザは、辞書コンテンツ毎に使用感が異なるので、不便を感じることもあった。上記の理由によって、ユーザが、ユーザが所望の情報に迅速にアクセスできないことがあった。

【0008】

上記問題に鑑み、複数の提供者から提供されるコンテンツが1つのWebサイトにて提供されれば、ユーザが各コンテンツを閲覧する機会を増やすことができるので、各コンテンツのユーザを増やすことができると考えられる。さらに、複数のコンテンツについて同じ使用環境を提供すれば、ユーザの利便性が向上し、ユーザを増やすことができると考えられる。従って、複数の辞書コンテンツを1つのWebサイトで提供し、且つ共通の使用環境(ユーザインターフェイス)を提供すれば、ユーザの増大を図ることができると考えられる。

【0009】

ところで、複数のコンテンツを1つのWebサイトを介して提供する場合、ユーザが各コンテンツの提供について提供者と個別の契約を結ぶのではなく、複数のコンテンツの提供について包括的な契約を結ぶことが、ユーザのさらなる利便性の向上を図り、契約に至るユーザの増大を図る点で好ましい。

【0010】

ところが、包括的な契約が締結される場合には、契約によって得られる収益は、複数の提供者に配分されなければならない。ここで、例えば、収益を複数の提供者に均等に配分することが考えられるが、コンテンツ間の使用頻度に差異がある場合には、配分に不満を持つ提供者が現れる可能性がある。

【0011】

本発明の目的は、複数の提供者から提供された複数のサービスをユーザに仲介することに関する収益を各提供者に不満なく配分することができる仲介サービスの収益配分装置、その方法、及びコンピュータ読取可能な記録媒体を提供することである。

【0012】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上述した目的を達成するために以下の構成を採用する。

【0013】

即ち、本発明は、仲介サービスの収益分配装置であり、複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶した記憶部と、前記記憶部に記憶された分配対象金額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出する算出部と、を含む。

【0014】

本発明によれば、提供の頻度に応じた分配金が各サービスについて算出される。したがって、算出された分配金をサービスの提供者に与えれば、サービスの提供者は、分配金を不満なく受け取ることができる。

【0015】

サービスは、ユーザに商品を提供するサービスと、役務を提供するサービスとの双方を含む。仲介サービスは、ユーザをサービスの提供者に案内する(ユーザがサービスの提供者に接触することを仲介する)サービス(狭義の仲介サービス)と、ユーザが所望するサービスをサービスの提供者に代わって提供するサービス(サービス提供の代行サービス)とを含む。前者は、例えば、ユーザ(クライアント)をサービス提供者がユーザにサービスを提供するためのシステムに接続するサービスである。後者は、例えば、複数の提供者から提供された複数のコンテンツの中から要求に対応するコンテンツをユーザに提供するサービスである。

【0016】

本発明は、上記した収益分配装置と同様の特徴を備える収益分配方法、コンピ

ュータに収益分配処理を実行させるプログラムを記録した記録媒体として特定することもでき、これらによっても本発明の目的を達成することができる。

【 0 0 1 7 】

また、本発明は、複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供する提供部と、前記仲介サービスを提供することによって得られる収益のうち、各提供者への分配金の額をユーザに提供したサービスの提供の頻度に基づき算出する算出部と、を含む仲介サービスの収益分配装置として特定することができる。

【 0 0 1 8 】

例えば、収益分配装置は、複数の提供者により提供されるコンテンツのうち要求されたコンテンツをユーザに提供する提供部と、ユーザへのコンテンツ提供により得られる収益のうち、各提供者への分配金の額をユーザに提供したコンテンツの提供頻度に基づき算出する算出部と、を含むコンテンツ提供サービスの収益分配装置として特定することができる。

【 0 0 1 9 】

また、本発明は、記憶部と、制御部とを備える仲介サービスのための情報処理装置における収益分配方法であって、前記制御部が、複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供するステップと、各サービスのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、前記記憶部に記憶された各サービスの提供回数とサービスの提供回数の総和とから求まる各サービスの提供頻度に基づき、前記仲介サービスによって得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を含む収益分配方法として特定することができる。

【 0 0 2 0 】

例えば、記憶部と、制御部とを備えるコンテンツ提供サービスのための情報処理装置における収益分配方法であって、前記制御部が、複数の提供者により提供されるコンテンツのうち要求されたコンテンツをユーザに提供するステップと、各コンテンツのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、前記記憶部に記憶された各コンテンツの提供回数とコンテンツの提供回数の総和とか

ら求まる各コンテンツの提供頻度に基づき、ユーザへのコンテンツ提供により得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を含む収益分配方法として特定することができる。

【 0 0 2 1 】

さらに、本発明は、コンピュータに、複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供するステップと、各サービスのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、前記記憶部に記憶された各サービスの提供回数とサービスの提供回数の総和とから求まる各サービスの提供頻度に基づき、前記仲介サービスによって得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体として特定することができる。

【 0 0 2 2 】

例えば、コンピュータに、複数の提供者により提供されるコンテンツのうち要求されたコンテンツをユーザに提供するステップと、各コンテンツのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、前記記憶部に記憶された各コンテンツの提供回数とコンテンツの提供回数の総和とから求まる各コンテンツの提供頻度に基づき、ユーザへのコンテンツ提供により得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体として特定することができる。

【 0 0 2 3 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施形態を説明する。以下の実施形態は本発明の例示であり、本発明は実施形態の構成に限定されない。

【 0 0 2 4 】

〔第 1 実施形態〕

図 1 は、本発明に係るコンテンツ提供サービスの説明図である。図 1 において、コンテンツ提供サービス(本発明の「仲介サービス」に相当)の提供者(仲介者：仲介サービスの提供者)は、複数のコンテンツの提供者(本発明の「サービス」

の提供者に相当)から提供された複数のコンテンツを保持する。

【 0 0 2 5 】

コンテンツ提供サービスの提供者(以下、「サービス提供者」又は「仲介者」という)は、複数のコンテンツの提供についての包括的な契約を1以上のユーザとの間で締結し、各ユーザからの要求に従って、複数のコンテンツの中から要求に対応するコンテンツをユーザに提供する。即ち、仲介者は、コンテンツの提供者に代わって、ユーザに所望のコンテンツを提供する。

【 0 0 2 6 】

各ユーザ(契約者)は、所定期間(例えば、月)毎に、契約に基づくサービス料(仲介サービスの使用料)を仲介者に支払う。例えば、各ユーザは、サービス料を仲介者の口座に入金する。

【 0 0 2 7 】

仲介者は、所定期間毎に、その期間内におけるサービス料の合計(収益)から各コンテンツの提供者に配分すべき金額としての分配対象金額を算出する。分配対象金額は、例えば、サービス料の合計からコンテンツ提供サービスの運営費(仲介サービスの運営費)を差し引いた金額である。運営費は、コンテンツ提供サービス(コンテンツ提供の仲介サービス)を提供するためのシステムの維持費用、仲介者がコンテンツ提供者とユーザとを仲介することに対する仲介料を含む。

【 0 0 2 8 】

続いて、仲介者は、分配対象金額を、各コンテンツのユーザへの提供の頻度(ユーザによる各コンテンツの使用頻度)に従って、各コンテンツに分配した金額としての分配金の額を夫々算出する。

【 0 0 2 9 】

その後、仲介者は、各コンテンツに対応する分配金を各コンテンツの提供者に支払う。例えば、仲介者は、自身の口座から分配対象金を引き落とし、各コンテンツの提供者へ分配金を振り込むことを金融機関に依頼する。各提供者は、分配金をコンテンツの提供に対する配当として受け取る。

【 0 0 3 0 】

図2は、図1に示したコンテンツ提供サービスを実現するシステムの例を示す

図である。システムは、収益分配装置としてのサーバSと、サーバSにネットワークを通じて接続され、サービスの契約者(ユーザ)によって操作される1以上のクライアントCとからなる。

【0031】

サーバSは、パーソナルコンピュータ(PC)、ワークステーション(WS)、サーバマシン等のコンピュータを用いて構成される。一方、クライアントCは、PC、WS、モバイルコンピュータ、PDA(Personal Digital Assistants)、携帯電話端末(PHS含む)等のDTEとして機能するコンピュータを用いて構成される。但し、サーバS及びクライアントCは、汎用のコンピュータではなく、専用の装置で構成することもできる。

【0032】

ネットワークは、インターネット、専用回線、電話網等を使用することができる。ネットワーク中のサーバSとクライアントCとの結ぶルートの全ては、有線で構築されていてもよく、ルートの全部又は一部が無線で構築されていても良い。

【0033】

サーバSは、仲介者によって管理され、各クライアントにコンテンツ提供サービスを提供する。このため、サーバSは、複数のコンテンツ提供者から提供された複数のコンテンツを記憶したデータベース1と、各クライアントからの要求に対応するコンテンツを対応するクライアントに提供するコンテンツ提供部2とを備えている。

【0034】

コンテンツXは、コンテンツ提供者Aから提供されたコンテンツであり、コンテンツYは、コンテンツ提供者Bから提供されたコンテンツであり、コンテンツZは、コンテンツ提供者Cから提供されたコンテンツである。

【0035】

なお、データベース1は、サーバSとして機能するコンピュータに設けられた記録媒体を用いて構成される。コンテンツ提供部2は、コンピュータのCPUがプログラムを実行することによって実現される機能である。

【 0 0 3 6 】

各ユーザは、コンテンツの提供を求める場合には、クライアントCを操作し、コンテンツ提供の要求をサーバSに送出する。サーバSのコンテンツ提供部2は、クライアントCから要求を受け取ると、コンテンツを提供するための画面(コンテンツ提供画面)3のデータをクライアントCに転送する。

【 0 0 3 7 】

クライアントCは、サーバSから受け取った画面データに基づく画面3を図示せぬ表示装置(ディスプレイ)に表示する。図3は、画面3の例を示す図である。図3は、図1に示した各コンテンツX,Y,Zが、各コンテンツ提供者(出版社)A,B,Cから夫々提供された書籍である場合の例を示している。

【 0 0 3 8 】

画面3は、コンテンツのリストを表示する表示領域4と、コンテンツを表示する表示領域5とを有している。表示領域4は、提供対象の複数のコンテンツ(コンテンツX,Y,Z)のリストを表示する。図3の例では、表示領域4は、リストとして、コンテンツとしての書籍のタイトルをコンテンツ毎に表示する。

【 0 0 3 9 】

表示領域4に表示された各タイトルは、ユーザが所望のコンテンツを選択するためのボタンとして機能し、ユーザは、クライアントCを操作し、リスト中から選択した所望のコンテンツ(書籍)の選択結果を入力する。例えば、ユーザは、表示されたタイトルをクリックすることによって、選択結果を入力することができる。

【 0 0 4 0 】

選択結果が入力されると、選択されたコンテンツの提供の要求がクライアントCから送出される。サーバSのコンテンツ提供部2は、クライアントCからコンテンツの提供の要求を受け取ると、この要求に対応するコンテンツをデータベース1から取り出し、クライアントCに転送する。

【 0 0 4 1 】

クライアントCは、転送されたコンテンツを画面3の表示領域5に表示する。図2に示す例では、表示領域5は、選択されたコンテンツとしての書籍(コンテ

ンツ Y)の本文を表示する。ユーザは、表示領域 5 に表示されたコンテンツ(書籍)を閲覧することができる。

【 0 0 4 2 】

上記したコンテンツ提供サービスによると、コンテンツ提供部 2 は、画面 3 を提供し、ユーザは、1 つのアクセス場所(画面 3)を通じて複数のコンテンツ X, Y, Z にアクセスすることができる。このため、ユーザは、コンテンツ毎に個別の場所へアクセスする必要がない。

【 0 0 4 3 】

また、ユーザは、画面 3 を用いた共通の操作(所望のコンテンツのタイトルのクリック)により、所望のコンテンツを受け取ることができる。このように、画面 3 は、複数のコンテンツに共通なユーザインターフェイスとして機能し、ユーザは、同じ環境下で、各コンテンツ X, Y, Z へアクセスすることができる。

【 0 0 4 4 】

サーバ S は、上記したコンテンツ提供サービスによって得られた収益を複数のコンテンツの提供者(出版社) A, B, C に分配するため、以下の構成をもつ。

【 0 0 4 5 】

即ち、サーバ S は、各コンテンツの提供の頻度(使用頻度)に関するデータを記憶する記憶部 7 と、分配対象金額のデータを記憶した記憶部 8 と、各記憶部 7, 8 に記憶されたデータを用いて各コンテンツに対する分配金を算出する算出部 9 とを備えている。

【 0 0 4 6 】

なお、各記憶部 7, 8 は、サーバ S として機能するコンピュータに設けられた記録媒体を用いて構成される。算出部 9 は、コンピュータの CPU がプログラムを実行することによって実現される機能である。

【 0 0 4 7 】

記憶部 7 は、コンテンツ毎に用意された複数のカウンタを含んでいる。図 2 に示す例では、記憶部 7 は、各コンテンツ X, Y, Z に対応するカウンタ 7 A, 7 B, 7 C を含んでいる。

【 0 0 4 8 】

コンテンツ提供部 2 は、複数のコンテンツの何れか、即ち、コンテンツ X, Y, Z の何れかをクライアント C に提供する毎に、提供対象のコンテンツに対応するカウンタの値を 1 インクリメントする。

【 0 0 4 9 】

各カウンタ 7 A, 7 B, 7 C のカウンタ値は、所定期間の開始時にリセットされる。これによって、各カウンタ 7 A, 7 B, 7 C は、所定期間(例えば、月)における各コンテンツの提供回数(ユーザの使用(閲覧)回数)を、提供の頻度に関するデータとして保持する。なお、記憶部 7 は、所定期間における各コンテンツの提供回数を記憶する構成であれば良い。

【 0 0 5 0 】

記憶部 8 は、分配対象金額のデータを保持する。分配対象金額は、例えば、サービス提供者が、分配対象金額を記憶部 8 に記憶させるようにしても良く、算出部 9 がサービス料の合計(収益)と、コンテンツ提供サービスの運営費とを用いて分配対象金額を算出し、算出した分配対象金額を記憶部 8 に格納するようにしても良い。

【 0 0 5 1 】

算出部 9 は、各コンテンツ X, Y, Z に対する分配金を算出する。図 4 は、算出部 9 による処理の説明図である。算出部 9 は、記憶部 9 に記憶されている所定期間における分配対象金($T - S$)を読み出す。分配対象金($T - S$)は、サービス料の合計(収益) T から運営費 S を減じることで得られる。

【 0 0 5 2 】

次に、算出部 9 は、所定期間における各コンテンツ X, Y, Z の提供の頻度(使用頻度)を求める。即ち、算出部 9 は、各カウンタ 7 A, 7 B, 7 C に格納された所定期間における各コンテンツ X, Y, Z の提供回数(使用回数)を読み出す。次に、算出部 9 は、各コンテンツ X, Y, Z の提供回数をこれらの提供回数の和で割ることによって、各コンテンツ X, Y, Z に対する提供の頻度(使用頻度) μ を求める。

【 0 0 5 3 】

即ち、算出部 9 は、以下の計算を行う。

コンテンツXの提供頻度 $\mu_X = C_X / (C_X + C_Y + C_Z)$

コンテンツYの提供頻度 $\mu_Y = C_Y / (C_X + C_Y + C_Z)$

コンテンツZの提供頻度 $\mu_Z = C_Z / (C_X + C_Y + C_Z)$

但し、上記式における“ C_X ”は、カウンタ7Aのカウンタ値(コンテンツXの提供回数)であり、“ C_Y ”は、カウンタ7Bのカウンタ値(コンテンツYの提供回数)であり、“ C_Z ”は、カウンタ7Cのカウンタ値(コンテンツZの提供回数)である。

【0054】

そして、算出部9は、求めた頻度 μ_X 、頻度 μ_Y 、及び頻度 μ_Z を分配対象金額 $(T-S)$ に夫々掛けることによって、各コンテンツに対応する分配金の額 $\mu_X(T-S)$ 、分配金の額 $\mu_Y(T-S)$ 、及び分配金の額 $\mu_Z(T-S)$ を得る。

【0055】

算出部9によって求められた分配金の額 $\mu_X(T-S)$ 、分配金の額 $\mu_Y(T-S)$ 、及び分配金の額 $\mu_Z(T-S)$ は、各コンテンツ提供者A,B,Cに支払われる。このため、サーバSは、支払依頼部10を備えている。支払依頼部10は、サーバSとして機能するコンピュータのCPUがプログラムを実行することによって実現される機能である。

【0056】

支払依頼部10は、分配金の額 $\mu_X(T-S)$ 、分配金の額 $\mu_Y(T-S)$ 、及び分配金の額 $\mu_Z(T-S)$ を算出部9から受け取ると、図示せぬ金融機関のコンピュータにアクセスし、サービス提供者の口座から分配対象金 $(T-S)$ を引き出し、分配金 $\mu_X(T-S)$ 、分配金 $\mu_Y(T-S)$ 、及び分配金 $\mu_Z(T-S)$ を、配当として、各コンテンツの提供者A,B,Cの口座に夫々振り込むことを依頼する。これによって、各コンテンツの提供者A,B,Cは、コンテンツの提供に対する配当を受け取ることができる。

【0057】

第1実施形態によれば、各コンテンツの提供者は、分配対象金の中から、自身が提供しているコンテンツの提供の頻度に応じた配当を得ることができる。即ち、各提供者は、提供の頻度が高い程多くの配当を得ることができる。

【 0 0 5 8 】

このため、ユーザの増加を企図し、ユーザとサービス提供者(仲介者)との間で複数のコンテンツの提供についての包括的な契約を結ぶ契約形態を採用しても、コンテンツの提供者が配当について不満を持つことが抑えられる。

【 0 0 5 9 】

従って、単独でコンテンツを提供しているコンテンツ提供者に、当該コンテンツ提供サービスへの参加を喚起することができる。これによって、コンテンツ提供サービスによって提供されるコンテンツの種類を増やすことができ、さらなるユーザの拡大を図ることができる。

【 0 0 6 0 】

なお、各記憶部 7, 8 及び算出部 9 (サーバ S 内で破線で囲まれた構成要素)が、本発明における収益分配装置における必要最小限の構成であり、これらがサーバ S とは別個のコンピュータによって実現されるようにしても良い。

【 0 0 6 1 】

〔第 2 実施形態〕

次に、本発明の第 2 実施形態を説明する。第 2 実施形態は、第 1 実施形態と共通点を有するので、共通点については説明を省略し、主として相違点について説明する。

【 0 0 6 2 】

図 5 は、第 2 実施形態におけるコンテンツ提供サービス(辞書検索サービス：本発明の「仲介サービス」に相当)の説明図である。図 5 において、サービス提供者(仲介者)は、複数のコンテンツ提供者としての各出版社 A, B, C から提供された複数の辞書コンテンツを保持する。

【 0 0 6 3 】

サービス提供者は、複数の辞書コンテンツの提供(本発明の「サービス」に相当)を含む検索システムを管理し、この検索システムを用いた検索サービスについての契約を 1 以上のユーザとの間で締結する。サービス提供者は、各ユーザからの要求に従って、ユーザの要求に対応する 1 以上の辞書コンテンツの提供を含む検索サービスをユーザに提供する。

【 0 0 6 4 】

各ユーザ(契約者)は、所定期間(例えば、月)毎に、契約に基づくサービス料をサービス提供者の口座に入金することによって、サービス料を支払う。

【 0 0 6 5 】

サービス提供者は、所定期間毎に、その期間内におけるサービス料の合計(収益)から各出版社A,B,Cに配分すべき金額としての分配対象金額を算出し、算出した分配対象金額を、辞書コンテンツの提供の頻度(辞書コンテンツの使用頻度)に従って各辞書コンテンツに分配した分配金の額を夫々算出する。

【 0 0 6 6 】

その後、サービス提供者は、自身の口座から分配対象金を引き出し、各出版社A,B,Cへ分配金を振り込むことを金融機関に依頼する。各出版社A,B,Cは、分配金を辞書コンテンツの提供に対する配当として受け取る。

【 0 0 6 7 】

図6は、図5に示した辞書検索サービスを実現するシステムの例を示す図である。システムは、収益分配装置としてのサーバ(検索システムサーバ)SVと、サーバSVにインターネットを通じて接続され、サービスの契約者(ユーザ)によって操作される1以上のクライアントCRとからなる。

【 0 0 6 8 】

サーバSVは、複数の辞書コンテンツを保持し、これらの複数の辞書コンテンツを用いた辞書検索サービスを提供するWEBサイトを、この検索サービスの契約者(ユーザ)に提供する。

【 0 0 6 9 】

このため、WEBサーバ11と、検索プログラム12と、データベース13と、各コンテンツの使用頻度に関するデータを記憶した記憶部14と、決済システム15とを備えている。データベース13は、各出版社A,B,Cから提供された辞書コンテンツCT1,CT2,CT3と、WEBページに関するファイル(HTMLファイル、イメージファイル、動画ファイル等)を記憶している。

【 0 0 7 0 】

WEBサーバ11及び検索プログラム12が、第1実施形態におけるコンテン

ツ提供部 2 (図 2)に相当し、データベース 1 3 は、第 1 実施形態におけるデータベース 1 に相当し、記憶部 1 4 は、第 1 実施形態における記憶部 7, 8 に相当し、決済システム 1 5 は、第 1 実施形態における算出部 9 及び依頼部 1 0 に相当する。

【 0 0 7 1 】

サーバ S V によってユーザに提供される W E B サイトは、検索サービスの提供者によって運営される。サービス提供者(仲介者)は、コンテンツ提供者とは別個の第三者機関であってもよく、コンテンツ提供者の何れかであっても良い。

【 0 0 7 2 】

クライアント C 1 は、例えば P C を用いて構成されており、サーバ S 1 から所望のコンテンツを含む W E B ページを受け取ってディスプレイに表示する W E B ブラウザ 1 6 を備えている。ユーザ(契約者)は、W E B ブラウザ 1 6 によって表示された W E B ページを閲覧することができる。

【 0 0 7 3 】

〈動作例〉

ユーザは、上記した検索サービスを使用する場合には、検索オプションの設定、検索結果リストの要求、検索結果の要求を行う。以下、これらの動作例を説明する。

(検索オプションの設定)

検索システムは、ユーザの検索作業を簡易にするための検索オプションを用意しており、ユーザは、検索サービスの使用にあたって、検索システムに自身の好む設定を施すことができる。図 7 は、検索オプションの設定の動作例の説明図であり、図 8 は、検索オプション設定ページの例を示す図である。

【 0 0 7 4 】

図 7 において、インターネットに接続されたクライアント C R のユーザは、W E B ブラウザ 1 6 を操作し、検索オプションを設定するための W E B ページとしてのページ 2 1 の要求コマンドを W E B ブラウザ 1 6 に入力する。すると、W E B ブラウザ 1 6 は、ページ 2 1 を取得する(ステップ S 1)。

【 0 0 7 5 】

即ち、WEBブラウザ16は、ページ21の要求をサーバSVに送信する。サーバSVがページ21の要求を受信すると、WEBサーバ11が検索プログラム12を起動する。検索プログラム12は、ページ21に関するファイル(HTMLファイル等)をデータベース13から取り出し、WEBサーバ11に与える。WEBサーバ11は、受け取ったファイルをWEBブラウザ16に転送する。WEBブラウザ16は、受け取ったファイルに基づき、ページ21を図示せぬディスプレイに表示する。

【0076】

図8は、ページ21の表示例を示す図である。ページ21は、複数の検索オプションの設定項目の入力欄を有している。設定項目は、例えば、リスト候補で優先して表示したい辞書コンテンツ、検索文字列の内容で検索方法を変更する設定(例えば、検索文字列が英語であれば英和辞典を優先する設定、日本語であれば国語辞典を優先する設定、等)を含んでいる。

【0077】

ユーザは、ページ21を閲覧し、設定内容をクライアントCRに入力する。WEBブラウザ16は、入力された設定内容をサーバSVに転送する。サーバSVは、設定内容を含むHTTP cookie (CGIスクリプトを使って、WWWサーバ側がブラウザ側に情報を保存したり、その情報を取り出す仕組み)を作成する。作成されたHTTP cookie(検索オプション22)は、クライアントCRに転送され、クライアントCRの記録媒体中で保存される(ステップS2)。

【0078】

なお、ページ21が本発明の設定画面に相当する。検索オプションの設定によって、ユーザは、設定画面としてのページ21を通じて複数の辞書コンテンツCT1, CT2, CT3についての優先順位を設定することができる。このようにして、ユーザの利便性向上が図られている。

【0079】

(検索結果リストの要求)

ユーザは、或る検索キーについて、検索サービスを使用する場合には、検索結果リストを要求する。図9は、検索結果リストを要求する際における動作例の説

明図である。

【0080】

ユーザは、検索結果リストを要求する場合には、クライアントCRのWEBブラウザ16を起動し、検索結果リストを要求するためのコマンドを入力する。すると、WEBブラウザ16は、検索サービスを使用するためのWEBページとしての検索ページ23をサーバSVから取得する(ステップS11)。

【0081】

即ち、WEBブラウザ16は、検索ページ23の要求をサーバSVに送信する。サーバSVがページ23の要求を受信すると、WEBサーバ11が検索プログラム12を起動する。検索プログラム12は、検索ページ23に関するファイル(HTMLファイル等)をデータベース13から取り出し、WEBサーバ11に与える。WEBサーバ11は、受け取ったファイルをWEBブラウザ16に転送する。WEBブラウザ16は、受け取ったファイルに基づき、検索ページ23を図示せぬディスプレイに表示する。

【0082】

図10は、検索ページ23の表示例を示す図である。検索ページ23は、検索キーとしての検索文字列を入力するためのエリア(検索キー入力エリア)24と、検索結果リストを表示するためのエリア(検索結果リストエリア)25と、検索結果を表示するためのエリア(検索結果エリア)26とを有している。但し、この段階では、各エリア25,26には何も表示されていない。

【0083】

ユーザは、エリア24に設けられた検索文字列の入力欄24Aに検索したい検索文字列を入力する。これによって検索文字列が指定される。WEBブラウザ16は、指定された検索文字列をサーバSVに送信する。

【0084】

送信された検索文字列は、サーバSVのWEBサーバ11に受信される。すると、WEBサーバ11は、検索プログラム12(図6)に含まれた検索結果リスト生成プログラム12Aを起動する(ステップS12)。

【0085】

検索結果リスト生成プログラム12Aは、検索文字列を検索キーとして、データベース13に格納された出版社Aの辞書コンテンツCT1、出版社Bの辞書コンテンツCT2、及び出版社Cの辞書コンテンツCT3を検索し、各辞書コンテンツCT1,CT2,CT3に含まれた検索文字列に対応する情報のインデックス(タイトル:見出し語)を、検索結果として取得する(ステップS13)。

【0086】

次に、検索結果リスト生成プログラム12Aは、クライアントCRに保存された検索オプション22を取得する(ステップS14)。そして、検索結果リスト生成プログラム12Aは、取得した検索結果と検索オプション22に含まれた設定内容とに基づいて、検索結果リストページ27のデータを作成する(ステップS15)。作成された検索結果リストページ27のデータは、WEBサーバ11によって、クライアントCに転送される(ステップS16)。

【0087】

WEBブラウザ16は、受信したデータに基づき、エリア25内に検索結果リストページ27を表示する。エリア25は、検索結果リストとして、各辞書コンテンツCT1,CT2,CT3の検索結果25A,25B,25Cを表示する。各検索結果25A,25B,25Cは、対応する辞書コンテンツから検索された検索文字列に対応する単数又は複数の情報のインデックス(タイトル)を表示する。但し、対応する情報がない場合には、その旨が表示される。また、ユーザが所望の情報を選択し易くするために、タイトルだけでなく、情報の一部を表示するようにしても良い。

【0088】

各検索結果25A,25B,25Cは、対応する検索結果ページ29にジャンプするためのボタンとして機能する。ユーザは、エリア25に表示された検索結果25A,25B,25Cを閲覧し、使用する辞書コンテンツを辞書コンテンツCT1,CT2,CT3の何れかから選択し、選択した辞書コンテンツの検索結果をマウスクリック等によって指定する。すると、WEBブラウザ16は、検索結果をサーバSVに要求する。

【0089】

(検索結果の要求)

図 1 1 は、検索結果要求の動作例を示す図である。図 1 1 において、WEB ブラウザ 2 2 は、図 1 1 に示すように、指定された辞書コンテンツの提供を要求するための検索結果の要求をサーバ S V に送信する(ステップ S 1 7)。ここでは、例として、出版社 B の辞書コンテンツ C T 2 が指定されたものとする。なお、図 1 1 において、出版社 A の辞書コンテンツ C T 1、出版社 C の辞書コンテンツ C T 3 の図示は省略している。

【0090】

サーバ S V の WEB サーバ 1 1 は、当該要求を受け取ると、選択された検索結果 2 5 B に設定されていた辞書コンテンツ C T 2 へのリンク 2 8 に従い、検索プログラム 1 2 中の検索結果生成プログラム 1 2 B を起動させる(ステップ S 1 8)。検索結果生成プログラム 1 2 B は、辞書コンテンツ C T 2 に対応するカウンタ 7 B を 1 だけインクリメントする(ステップ S 1 9)。

【0091】

次に、検索結果生成プログラム 1 2 B は、辞書コンテンツ C T 2 を検索し、検索結果 2 5 B に含まれていたインデックスに対応する情報の詳細を、ユーザに提供すべきコンテンツとして読み出す(ステップ S 2 0)。

【0092】

次に、検索結果生成プログラム 1 2 B は、読み出した情報の詳細を用いて検索結果ページ 2 9 のデータを生成する(ステップ S 2 1)。WEB サーバ 1 1 は、生成されたデータをクライアント C R へ転送する(ステップ S 2 2)。WEB ブラウザ 1 6 は、転送されたデータに基づき、検索ページ 2 3 のエリア 2 6 (図 1 0)に、検索結果ページ 2 9 を表示する。

【0093】

図 1 0 に示すように、エリア 2 6 は、検索結果ページ 2 9 として、ユーザに選択された辞書コンテンツ C T 2 から読み出された情報の詳細が表示される。ユーザは、表示された情報の詳細を閲覧することができる。このようにして、検索ページ 2 3 は、第 1 実施形態におけるコンテンツ提供画面 3 として機能し、検索ページ 2 3 を通じてユーザに対し所望のコンテンツが提供される。

【 0 0 9 4 】

なお、検索ページ 2 1 において、エリア 2 5 に検索結果リストが表示されている場合には、ユーザは、或る辞書コンテンツを選択した後に、エリア 2 5 に表示されたリストを用いて、他の辞書コンテンツを選択することもできる。即ち、検索ページを通じて、検索結果リストに挙げられた全ての辞書コンテンツにアクセスすることができる。

【 0 0 9 5 】

そして、他の辞書コンテンツとして、例えば、エリア 2 5 に表示された検索結果 2 5 A が選択された場合には、辞書コンテンツ C T 1 中の対応する情報の詳細がエリア 2 6 に表示され、カウンタ 7 A が 1 インクリメントされる。一方、エリア 2 5 に表示された検索結果 2 5 C が選択された場合には、辞書コンテンツ C T 3 中の対応する情報の詳細がエリア 2 6 に表示され、カウンタ 7 C が 1 インクリメントされる。

【 0 0 9 6 】

(収益の分配)

検索サービスのユーザは、月ごとに定額のサービス料をコンテンツ提供者に支払う。コンテンツ提供者は、サービス料の合計中の分配対象金額を各辞書コンテンツ C T 1 , C T 2 , C T 3 について分配し、分配された金額を出版社 A , B , C に支払う。

【 0 0 9 7 】

このため、図 6 に示した記憶部 1 4 は、図 1 2 に示すデータ構造を有する。即ち、記憶部 1 4 は、変数 S_B と、変数 S_E とを記憶している。変数 S_B は、後述する月始め処理の処理済みを示すフラグであり、変数 S_E は、後述する月締め処理の処理フラグである。

【 0 0 9 8 】

また、記憶部 1 4 は、変数 C_A と、変数 C_B と、変数 C_C と、変数 N_C とを記憶している。変数 C_A は、出版社 A の辞書コンテンツ C T 1 のヒット数(提供回数)であり、カウンタ 7 A のカウンタ値に相当する。変数 C_B は、出版社 B の辞書コンテンツ C T 2 のヒット数(提供回数)であり、カウンタ 7 B のカウンタ値に相当す

る。変数 C_C は、出版社Cの辞書コンテンツCT3のヒット数(提供回数)であり、カウンタ7Cのカウンタ値に相当する。変数 N_C は、月間のユーザ(契約者)の数である。

【0099】

さらに、記憶部14は、定数 F_C と、定数 F_M とを記憶している。定数 F_C は、検索サービスの月間サービス料であり、定数 F_M は、検索サービスの月間の運営費(仲介料、維持費含む)である。

【0100】

図6に示した決済システム15は、記憶部14に記憶されたデータを用い、収益の分配処理を行う。図11は、分配処理のメインルーチンを示す図である。図11において、決済システム15は、処理を開始すると、最初に、各変数 S_B 、 S_E を零に設定する(“faulse(偽)”にリセットする)(ステップS101)。

【0101】

次に、決済システム15は、現在の日が予め定義された月の開始日であり、且つ変数 S_B (月始め処理済みフラグ)が“false”か否かを判定する。この条件が満たされる場合(S102; YES)には、決済システム15は、月始め処理(ステップS104)を実行した後、処理をステップS102に戻す。上記条件が満たされない場合(S102; NO)には、決済システム15は、処理をステップS103に進める。

【0102】

ステップS103では、決済システムは、現在の日が予め定義された月の終了日(締め日)であり、且つ変数 S_E (月締め処理(月末処理)終了フラグ)が“false”か否かを判定する。この条件が満たされない場合(S103; NO)には、WEBサーバ11が、通常処理(ステップS105)を実行した後、処理をステップS102に戻す。これに対し、上記条件が満たされる場合(ステップS103; YES)には、決済システム15は、月末処理(ステップS106)を実行した後、処理をステップS102に戻す。

【0103】

図14は、月始処理(ステップS104)を示すフローチャートである。決済シ

システム 1 5 は、月始処理を開始すると、各変数 C_A, C_B, C_C を零に設定する (“false” にリセットする)(ステップ S 1 0 4 1)。

【0 1 0 4】

次に、決済システム 1 5 は、変数 N_C をその月の契約者(ユーザ)数に設定する(ステップ S 1 0 4 2)。契約者数は、サービス提供者によって、予めサーバ S V に登録されている。

【0 1 0 5】

次に、決済システム 1 5 は、変数 S_B の値を “true(真)” に設定し、変数 S_E の値を “false” に設定する(ステップ S 1 0 4 3)。ステップ S 1 0 4 3 の処理が終了すると、月始処理が終了し、処理がメインルーチン(図 1 3)のステップ S 1 0 2 に戻る。

【0 1 0 6】

図 1 5 は、通常処理(ステップ S 1 0 5)を示すフローチャートである。通常処理は、図 1 3 では、ステップ S 1 0 3 の条件が満たされた場合には常に実行されるように記載されているが、実際には、ステップ S 1 0 3 における条件が満たされている場合において、さらに、サーバ S V が検索結果リストの要求及び検索結果の要求を受け取った際に実行される。

【0 1 0 7】

WEBサーバ 1 1 は、通常処理を開始すると、ユーザ(契約者)によって指定された検索文字列に対応する検索結果リストをクライアント C R (WEB ブラウザ 1 6) に提供する(ステップ S 1 0 5 1)。

【0 1 0 8】

次に、WEBサーバ 1 1 は、ユーザが検索結果リストから辞書コンテンツ C T 1 を選択したか否かを判定する(ステップ S 1 0 5 2)。ユーザが辞書コンテンツ C T 1 を選択した場合(S 1 5 0 2 ; YES)には、WEBサーバ 1 1 は、カウンタ 7 A のカウンタ値(変数 C_A)を 1 インクリメントする(ステップ S 1 0 5 3)。

【0 1 0 9】

これに対し、ユーザが検索結果リストから辞書コンテンツ C T 2 を選択した場合(ステップ S 1 0 5 4 ; YES)には、WEBサーバ 1 1 は、カウンタ 7 B のカ

ウンタ値(変数 C_B)を1インクリメントする(ステップS1055)。

【0110】

これに対し、ユーザが検索結果リストから辞書コンテンツCT3を選択した場合(ステップS1056; YES)には、WEBサーバ11は、カウンタ7Cのカウンタ値(変数 C_B)を1インクリメントする(ステップS1057)。

【0111】

このように、WEBサーバ11は、通常処理において、検索結果リストから辞書コンテンツCT1, CT2, CT3の何れかが選択される毎に、対応するカウンタのカウンタ値(変数 C)を1インクリメントする。

【0112】

図16は、月末処理を示すフローチャートである。決済システム15は、月末処理を開始すると、下記の計算結果を辞書コンテンツCT1についての分配金として算出する(ステップS1061)。

辞書コンテンツCT1に対する分配金 $= (F_C N_C - F_M) C_A / C_A + C_B + C_C$
 上記式における“($F_C N_C - F_M$)”は、分配対象金額を示し、第1実施形態における“($T - S$)”に相当する。また、上記式における“($C_A / C_A + C_B + C_C$)”は、辞書コンテンツCT1の提供の頻度(使用頻度)を示し、第1実施形態における“(μ_X)”に相当する。

【0113】

次に、決済システム15は、下記の計算結果を辞書コンテンツCT2についての分配金として算出する(ステップS1062)。

辞書コンテンツCT2に対する分配金 $= (F_C N_C - F_M) C_B / C_A + C_B + C_C$
 上記式における“($C_B / C_A + C_B + C_C$)”は、辞書コンテンツCT2の提供の頻度(使用頻度)を示し、第1実施形態における“(μ_Y)”に相当する。

【0114】

次に、決済システム15は、下記の計算結果を辞書コンテンツCT3についての分配金として算出する(ステップS1063)。

辞書コンテンツCT3に対する分配金 $= (F_C N_C - F_M) C_C / C_A + C_B + C_C$
 上記式における“($C_C / C_A + C_B + C_C$)”は、辞書コンテンツCT3の提供の頻度

(使用頻度)を示し、第1実施形態における“ μ_Z ”に相当する。

【0115】

次に、決済システム15は、下記の計算結果をサービス提供者が辞書コンテンツをユーザに仲介したことに対する利益として計上する(ステップS1064)。

仲介による利益 = $F_M - \langle \text{検索システムを維持するための費用} \rangle$

上記維持費用は、記憶部14に予め格納されている。

【0116】

そして、決済システム15は、変数 S_B を“false”に設定し、且つ変数 S_E を“true”に設定すると、月末処理を終了する。決済システム15は、月末処理を終了すると、ネットワークを通じて金融機関のコンピュータ(図示せず)にアクセスする。そして、決済システム15は、算出した分配金の夫々を各辞書コンテンツCT1, CT2, CT3の提供者である出版社A, B, Cに支払うことをコンピュータに依頼する。

【0117】

金融機関のコンピュータは、サービス提供者の口座と、各出版社A, B, Cの口座とを管理しており、サービス提供者の口座から分配対象金額($F_C N_C - F_M$)を引き出し、分配金 $(F_C N_C - F_M) C_A / C_A + C_B + C_C$ を出版社Aの口座に振り込み、分配金 $(F_C N_C - F_M) C_B / C_A + C_B + C_C$ を出版社Bの口座に振り込み、分配金 $(F_C N_C - F_M) C_C / C_A + C_B + C_C$ を出版社Cの口座に振り込む。これによって、分配金が配当として各出版社A, B, Cに支払われる。

【0118】

〈第2実施形態の作用〉

第2実施形態によれば、ユーザは、サーバSVから提供される検索ページ23を通じて複数の辞書コンテンツCT1, CT2, CT3を使用する(提供を受ける)ことができる。

【0119】

また、ユーザは、検索ページ23を用いて検索結果リストを要求し且つ検索結果を要求することによって、各辞書コンテンツCT1, CT2, CT3を使用することができる。即ち、ユーザは、検索ページ23を用いた同じ操作によって各辞

書コンテンツCT1,CT2,CT3を使用することができる。

【0120】

さらに、ユーザは、1つの契約によって複数の辞書コンテンツCT1,CT2,CT3を使用することができる。このため、ユーザは、従来における、複数の辞書コンテンツを使用するために複数の契約を結ぶといった手間を省くことができる。

【0121】

これらのように、ユーザの利便性が従来よりも向上しているので、辞書検索サービスの契約者(ユーザ)の拡大を図ることができ、サービス提供者(検索システムの運営者(管理者))は、収益(サービス料(サービスの使用料)の合計)の拡大を図ることができる。この結果、サービス提供者は、サービス料を安価で設定することができ、さらなるユーザの拡大を図ることができる。

【0122】

一方、辞書コンテンツの提供者は、複数の辞書コンテンツが1つのWEBページ(検索ページ23)を通じて提供されることにより、自身が提供した辞書コンテンツをユーザが使用する機会を増やすことができ、自身の辞書コンテンツのユーザを増やすことができる。

【0123】

そして、辞書コンテンツの提供者は、自身が提供した辞書コンテンツの提供の頻度(使用頻度)に応じた配当を得ることができるので、配当を不満なく受け取ることができる。また、配当(分配金)が辞書コンテンツに対して決定されるので、辞書コンテンツの提供者は、複数の辞書コンテンツを提供している場合には、各辞書コンテンツに対応する配当を得ることができる。

【0124】

これらによって、他の辞書コンテンツの提供者に対し、検索サービス(WEBサイト)への参加(サービス提供者に対する辞書コンテンツの提供)を促すことができる。サービス提供者及び辞書コンテンツの提供者は、辞書コンテンツの数が増えることによって、さらなるユーザの増加を期待することができる。

【0125】

また、辞書コンテンツの提供者は、ユーザへの辞書コンテンツの提供をサービス提供者に委ねることにより、仲介費用は発生するが、WEBサイト(サーバS V)を管理・運営しなくて済む利点がある。一方、複数の辞書コンテンツの提供者は、検索サービスの運営費を共同で負担することになるので、各提供者が独自に負担する場合よりも負担が軽減される。

【 0 1 2 6 】

上記詳述した第1及び第2実施形態においては、各コンテンツを夫々異なる提供者が提供する場合を例とし、カウンタをコンテンツ対応で設けているが、カウンタとそれを用いたコンテンツの提供者への分配金の算出方法はこれに限定されるものではない。

【 0 1 2 7 】

上記実施形態のようにコンテンツ対応にカウンタを設けるのではなく、以下のように構成する。即ち、コンテンツを提供している提供者毎にカウンタが設けられ、ユーザにコンテンツが提供されたときに、提供されたコンテンツに対応するカウンタがインクリメントされる。その後、各カウンタ値を用いてコンテンツの提供者への分配額が決定される。

【 0 1 2 8 】

このようにすれば、一の提供者(仲介者)が複数のコンテンツを提供する場合において、各コンテンツの提供者へ支払う分配金の額を求める算出処理が容易になる。

【 0 1 2 9 】

なお、上記変形例が採用される場合には、コンテンツとその提供者の対応を記録したテーブルを利用する等して、ユーザに提供されたコンテンツの提供者が特定されるようにするのが好ましい。

【 0 1 3 0 】

また、第2実施形態では、コンテンツとして辞書コンテンツを例にして説明しているが、動画、静止画、音声など本発明でユーザに提供されるコンテンツの種別はこれに限定されるものではない。また、複数のコンテンツ提供者から提供されるコンテンツも同種別のものに限定されるものではなく、種別の異なるコンテ

ンツをユーザに提供するものであっても良い。

【 0 1 3 1 】

上記詳述した第 1 及び第 2 の実施形態においては、複数の提供者によって提供されるコンテンツ(情報)の提供するサービスを対象に各提供者に対する収益の分配方法を算出する例を説明した。

【 0 1 3 2 】

しかし、本発明の収益分配方法の対象はコンテンツに限定されるものではなく、提供者により提供されるサービスも対象とすることも可能である。

【 0 1 3 3 】

即ち、第 1 及び第 2 実施形態において説明した「提供者」は、各種のサービスを提供し、「サービス提供者(仲介者)」は、提供者によって提供されるサービスをユーザに提示する仲介サービスを行い、ユーザによって利用されるサービスの使用頻度に応じて各提供者への収益分配を行うことにも本発明は適用可能なものである。

【 0 1 3 4 】

この例での処理を説明すると以下のようなになる。なお、複数のサービスの提供者と仲介者間との契約、ユーザと仲介者間との契約は上述した実施形態と同様であり、その説明は省略する。また、各提供者への分配金額の算出方法やユーザからのサービス料の徴収、各提供者への決済も同様であるためその説明も省略する。

【 0 1 3 5 】

まず、サービス提供者(仲介者)のサーバは、クライアント(ユーザ)の要求に応じて複数のサービスの提供者によって提供される複数のサービスの一覧をクライアントに送信する。

【 0 1 3 6 】

サービスの一覧を受信したクライアントは、画面上にサービスの一覧を表示し、ユーザの選択結果入力の特機状態となる。

【 0 1 3 7 】

ユーザによって一覧の中から所望のサービスが選択されると、その選択された

サービスを特定する情報がクライアントからサービス提供者のサーバに送信され、サーバは、ユーザによって選択されたサービスに対応するカウンタを1インクリメントする。

【0138】

また、上記サーバは、ユーザによって選択されたサービスがユーザに提供されるための処理を行う。例えば、サーバは、提供者によってサービスの提供が行われているシステムとユーザが利用するクライアントとを接続する。例えば、例えば、提供者によって運営されているWEBサイトとクライアントとを接続する。

【0139】

このように、本発明は、「コンテンツ」の提供を仲介する仲介サービスにのみに適用可能なものでなく、「提供者」によって提供される「サービス」一般に対する仲介サービスに適用することができる。

【0140】

即ち、第1及び第2実施形態に説明した辞書検索サービスを含むコンテンツ提供サービスは、コンテンツの提供を仲介する仲介サービスの一例であり、本発明は、これに限定されない。

【0141】

〔付記〕

本発明は、以下のように特定することができる。

（付記1）複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶した記憶部と、前記記憶部に記憶された分配対象金額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出する算出部と、を含む仲介サービスの収益分配装置。

（付記2）前記算出部は、前記所定期間における各サービスの提供回数を記憶する提供回数記憶部と、計数された各サービスの提供回数をサービスの提供回数の総和で割ることによって各サービスの提供の頻度を算出し、算出された各頻度を前記分配対象金額に掛けることによって各サービスに割り当てられる分配金額を

算出する分配金算出部と、を含む付記 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 3）前記収益は、1 つの契約に従って前記ユーザから徴収される、前記所定期間における前記仲介サービスの使用料の合計である、付記 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 4）前記分配対象金の額は、前記収益から前記仲介サービスの運営費を減じた額である、付記 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 5）前記分配金を各提供者に支払うことを金融機関に依頼する依頼部をさらに含む、付記 1 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 6）前記複数の提供者から提供された複数のコンテンツを保持したデータベースと、前記サービスとして前記ユーザの要求に応じたコンテンツを前記データベースから取得して前記ユーザに提供するとともに、各コンテンツの提供回数を前記提供回数記憶部に記憶するコンテンツ提供部とをさらに含む、付記 2 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 7）前記コンテンツが辞書コンテンツであり、前記コンテンツ提供部は、ユーザから受け取った検索キーに対応する辞書コンテンツのリストをユーザに提供し、このリストからユーザによって選択された辞書コンテンツをユーザに提供する、付記 6 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 8）複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶するステップと、記憶された分配対象金額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出するステップと、を含む仲介サービスの収益分配方法。

（付記 9）前記分配金の額を算出するステップは、前記所定期間における各サービスの提供回数を記憶するステップと、計数された各サービスの提供回数をサービスの提供回数の総和で割ることによって各サービスの提供の頻度を算出し、算出された各頻度を前記分配対象金の額に掛けることによって各サービスに割り当てられる分配金の額を算出するステップと、を含む付記 8 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 1 0）前記収益は、1つの契約に従って前記ユーザから徴収される、前記所定期間における前記仲介サービスの使用料の合計である、付記 8 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 1 1）前記分配対象金の額は、前記収益から前記仲介サービスの運営費を減じた額である、付記 8 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 1 2）前記分配金を各提供者に支払うことを金融機関に依頼するステップをさらに含む、付記 8 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 1 3）前記サービスとして前記複数の提供者から提供された複数のコンテンツを記憶したデータベースから前記ユーザの要求に応じたコンテンツを取得して前記ユーザに提供するとともに、各コンテンツの提供回数を記憶するステップをさらに含む、付記 9 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 1 4）前記コンテンツが辞書コンテンツであり、前記コンテンツをユーザに提供するステップは、ユーザから受け取った検索キーに対応する辞書コンテンツのリストをユーザに提供するステップと、このリストからユーザによって選択された辞書コンテンツをユーザに提供するステップとを含む、付記 1 3 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 1 5）複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶するステップと、記憶された分配対象金の額の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出するステップと、をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

（付記 1 6）前記分配金の額を算出するステップは、前記所定期間における各サービスの提供回数を記憶するステップと、計数された各コンテンツの提供回数をコンテンツの提供回数の総和で割ることによって各コンテンツの提供の頻度を算出し、算出された各頻度を前記分配対象金の額に掛けることによって各コンテンツに割り当てられる分配金の額を算出するステップと、を含む前記プログラムを記録した付記 1 5 記載の記録媒体。

（付記 1 7）前記収益は、1つの契約に従って前記ユーザから徴収される、前記

所定期間における前記仲介サービスの使用料の合計である、前記プログラムを記録した付記 1 5 記載の記録媒体。

（付記 1 8）前記分配対象金の額は、前記収益から前記仲介サービスの運営費を減じた額である、前記プログラムを記録した付記 1 5 記載の記録媒体。

（付記 1 9）前記分配金を各提供者に支払うことを金融機関に依頼するステップをさらに含む、前記プログラムを記録した付記 1 5 記載の記録媒体。

（付記 2 0）前記サービスとして前記複数の提供者から提供された複数のコンテンツを記憶したデータベースから前記ユーザの要求に応じたコンテンツを取得して前記ユーザに提供するとともに、各コンテンツの提供回数を記憶するステップをさらに含む、前記プログラムを記録した付記 1 6 記載の記録媒体。

（付記 2 1）前記コンテンツが辞書コンテンツであり、前記コンテンツ提供ステップは、ユーザから受け取った検索キーに対応する辞書コンテンツのリストをユーザに提供するステップと、このリストからユーザによって選択された辞書コンテンツをユーザに提供するステップとを含む、前記プログラムを記録した付記 2 0 記載の記録媒体。

（付記 2 2）前記コンテンツ提供部は、ユーザが複数の辞書コンテンツに対する優先順位を設定するための設定画面を提供する、付記 6 記載の仲介サービスの収益分配装置。

（付記 2 3）前記コンテンツを提供するステップは、ユーザが複数の辞書コンテンツに対する優先順位を設定するための設定画面を提供するステップを含む、付記 1 3 記載の仲介サービスの収益分配方法。

（付記 2 4）前記コンテンツを提供するステップは、ユーザが複数の辞書コンテンツに対する優先順位を設定するための設定画面を提供するステップを含む、前記プログラムを記録した付記 2 0 記載の記録媒体。

（付記 2 5）複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供する提供部と、前記仲介サービスを提供することによって得られる収益のうち各提供者への分配金の額をユーザに提供したサービスの提供の頻度に基づき算出する算出部と、を含む仲介サービスの収益分配装置。

(付記 2 6) 記憶部と、制御部とを備える仲介サービスのための情報処理装置における収益分配方法であって、前記制御部が、複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供するステップと、各サービスのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、前記記憶部に記憶された各サービスの提供回数とサービスの提供回数の総和とから求まる各サービスの提供頻度に基づき、前記仲介サービスによって得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を含む収益分配方法。

(付記 2 7) コンピュータに、複数の提供者により提供されるサービスのうち要求されたサービスをユーザに提供する仲介サービスを提供するステップと、各サービスのユーザへの提供回数を前記記憶部に記憶させるステップと、前記記憶部に記憶された各サービスの提供回数とサービスの提供回数の総和とから求まる各サービスの提供頻度に基づき、前記仲介サービスによって得られる収益のうちの各提供者への分配金の額を算出するステップと、を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【0 1 4 2】

【発明の効果】

本発明によれば、複数の提供者から提供される複数のサービスをユーザに仲介することに関する収益を各提供者に不満なく配分することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 コンテンツ提供サービスの説明図

【図 2】 コンテンツ提供システムの構成例を示す図

【図 3】 コンテンツの提供画面の表示例を示す図

【図 4】 分配処理の説明図

【図 5】 第 2 実施形態におけるコンテンツ提供サービスの説明図

【図 6】 コンテンツ提供システム(検索システム)の構成例を示す図

【図 7】 検索オプションを設定するための動作例の説明図

【図 8】 検索オプション設定ページの表示例を示す図

【図 9】 検索結果リストを要求する動作例の説明図

【図 1 0】 検索ページの表示例を示す図

【図 1 1】 検索結果の詳細を要求する動作例の説明図

【図 1 2】 図 6 に示した記憶部のデータ構造の例を示す図

【図 1 3】 分配処理のメインルーチンを示すフローチャート

【図 1 4】 図 1 2 に示した月始処理を示すフローチャート

【図 1 5】 図 1 2 に示した通常処理を示すフローチャート

【図 1 6】 図 1 2 に示した月末処理(月締め処理)を示すフローチャート

【符号の説明】

C, CR クライアント

CT1, CT2, CT3 辞書コンテンツ

S, SV サーバ

1 データベース

2 コンテンツ提供部

3 コンテンツ提供画面

4, 5 エリア

7 頻度データの記憶部

7A, 7B, 7C カウンタ

8 分配対象金額の記憶部

9 分配金算出部

10 支払依頼部

11 WEBサーバ

12 検索プログラム

12A 検索結果リスト作成プログラム

12B 検索結果生成プログラム

13 データベース

14 記憶部

15 決済システム

16 WEBブラウザ

21 検索オプション設定ページ

2 2 検索オプション

2 3 検索ページ

2 4 , 2 5 , 2 6 エリア

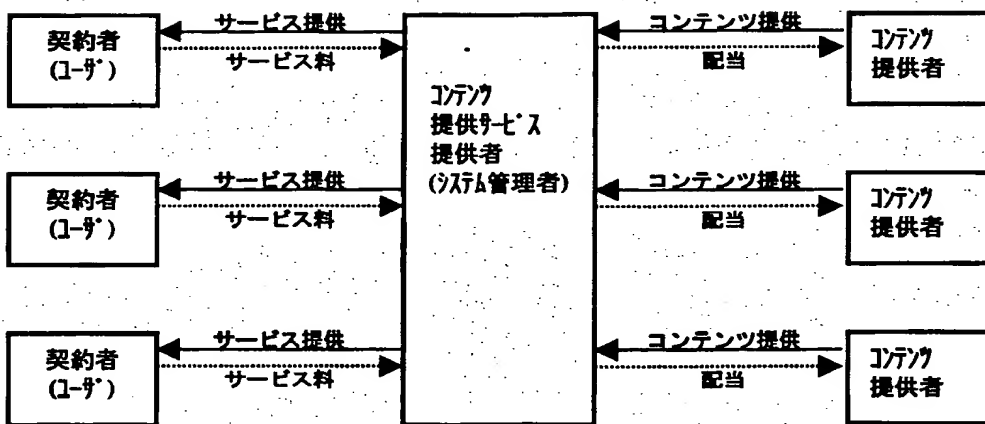
2 7 検索結果リストページ

2 9 検索結果ページ

【書類名】 図面

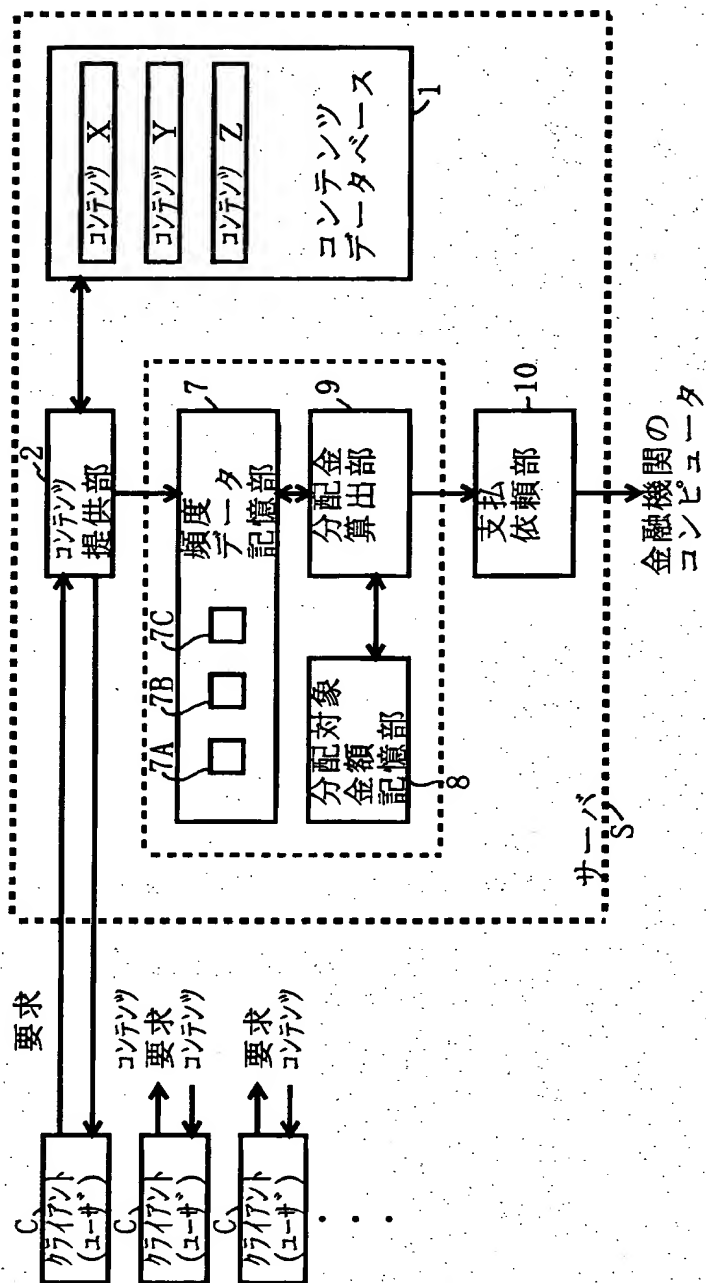
【図 1】

コンテンツ提供サービスの説明図

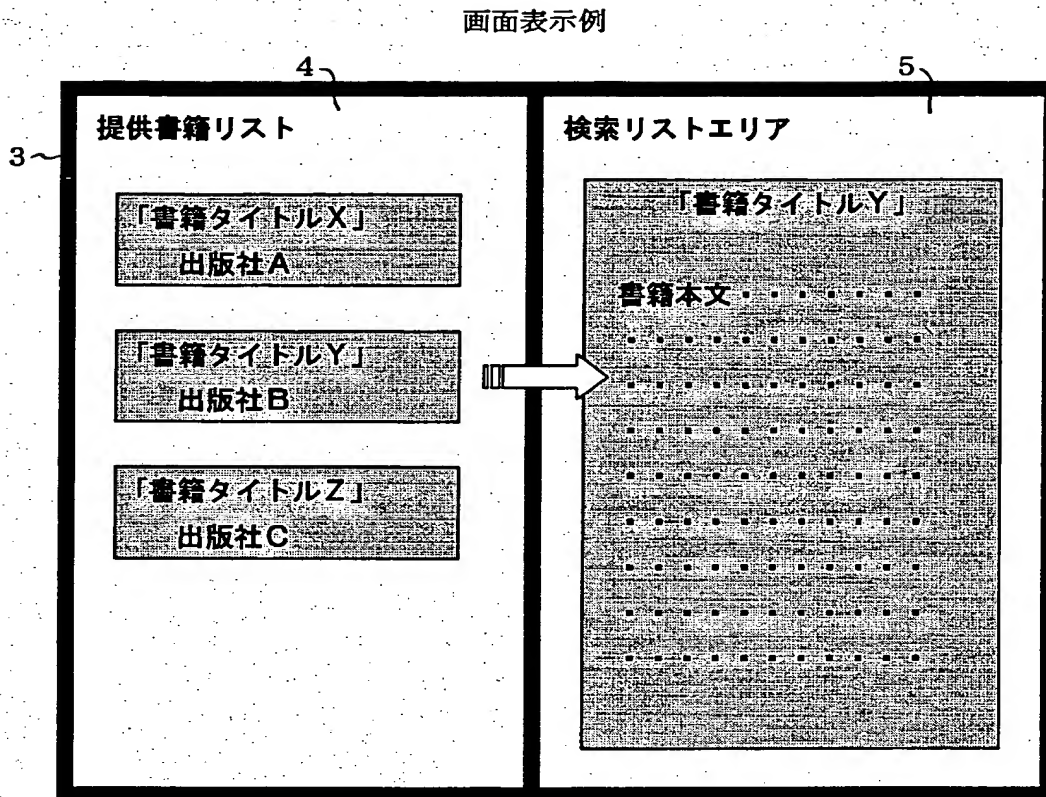


【図 2】

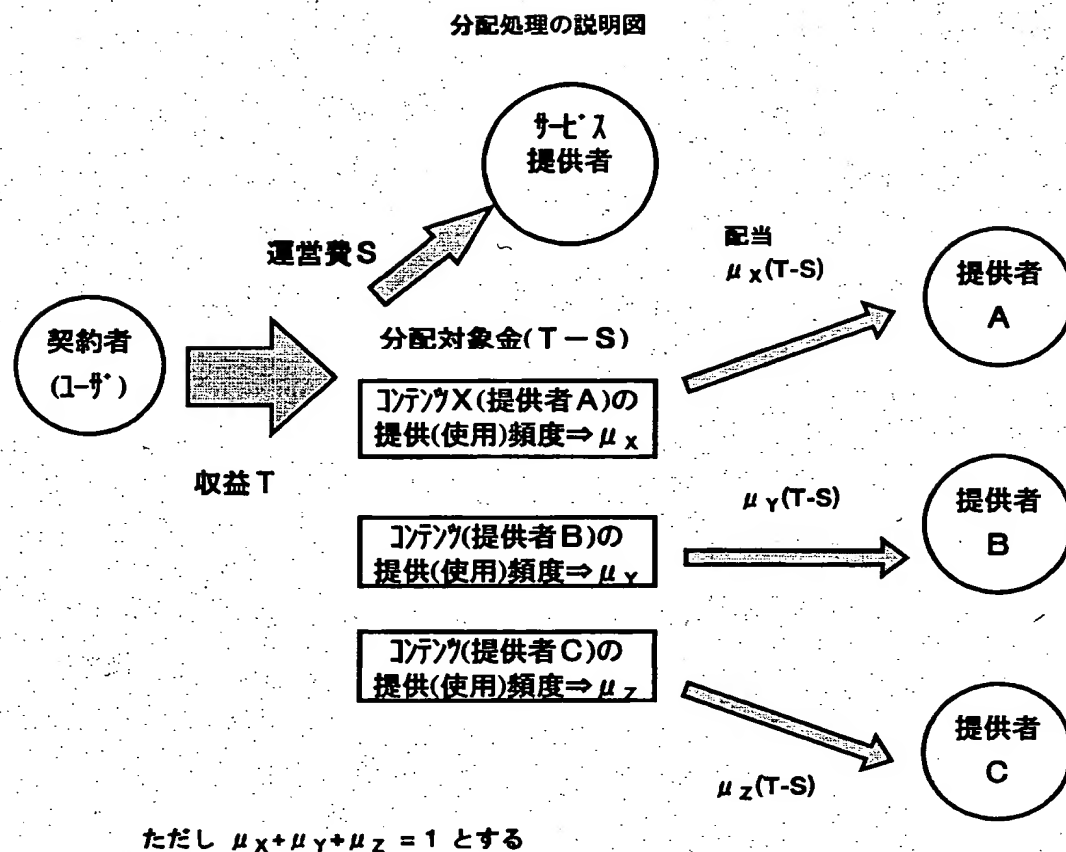
コンテンツ提供システムの構成例を示す図



【図 3】

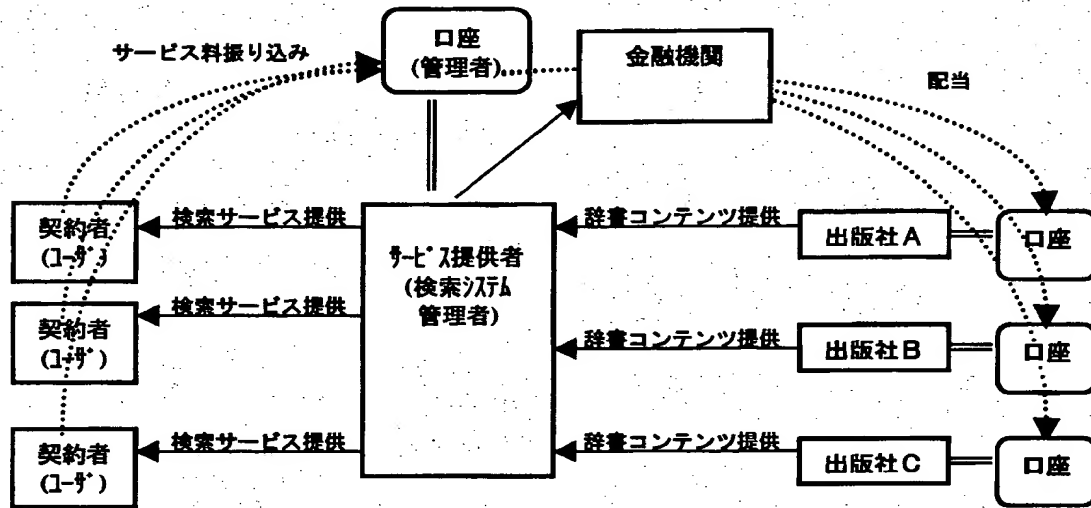


【図 4】

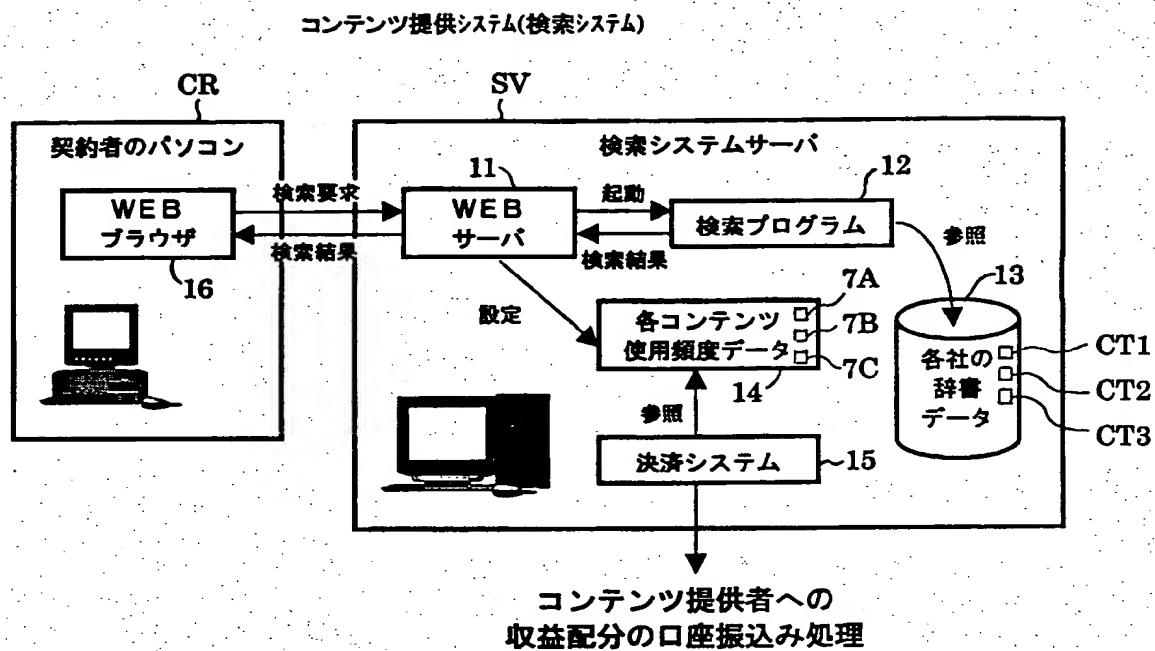


【図 5】

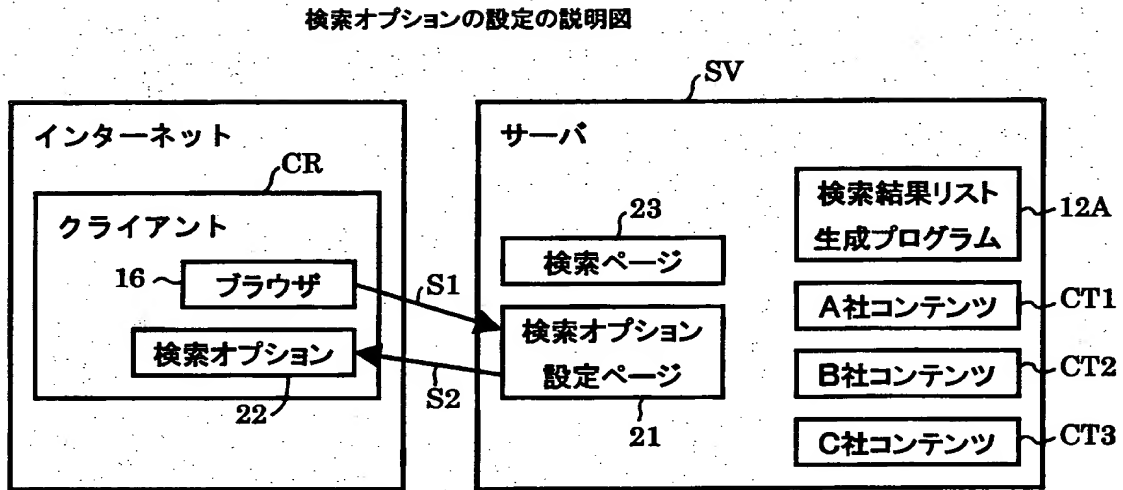
コンテンツ提供サービス(辞書検索サービス)の説明図



【図 6】



【図 7】



【図 8】

検索オプション設定ページ

21

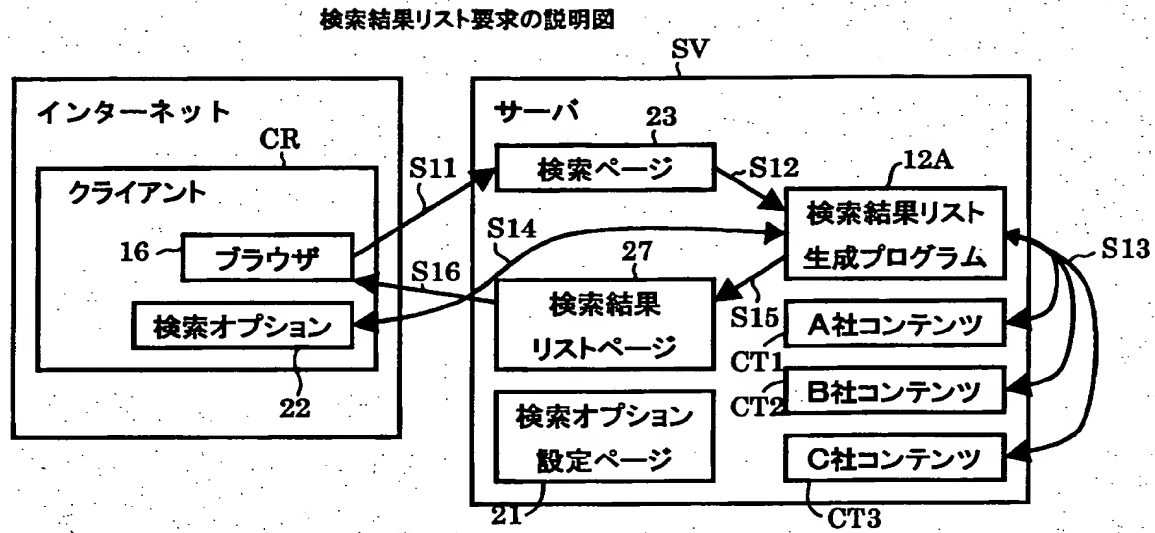
検索オプション設定

設定項目

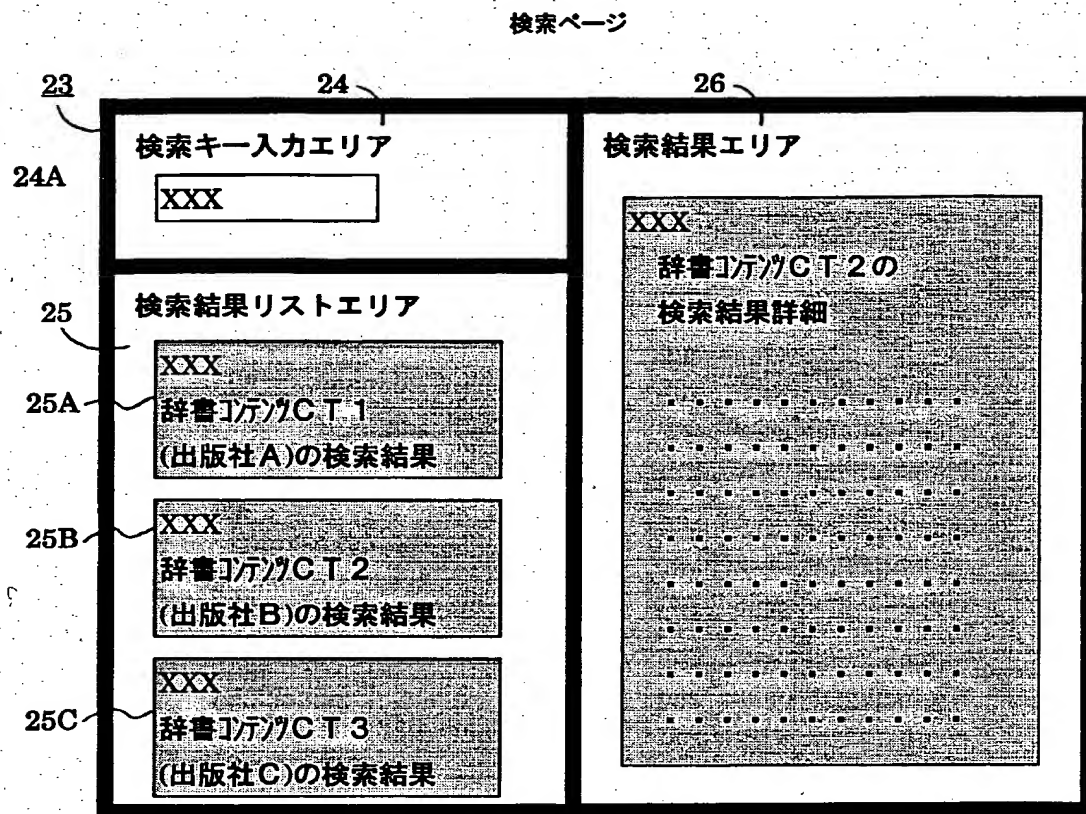
・ リスト候補で優先して表示したいコンテンツ

・ 検索文字列の内容で検索方法を変える設定 (例えば英語なら
英和辞典優先、日本語なら国語辞典優先とするなど)

【図 9】

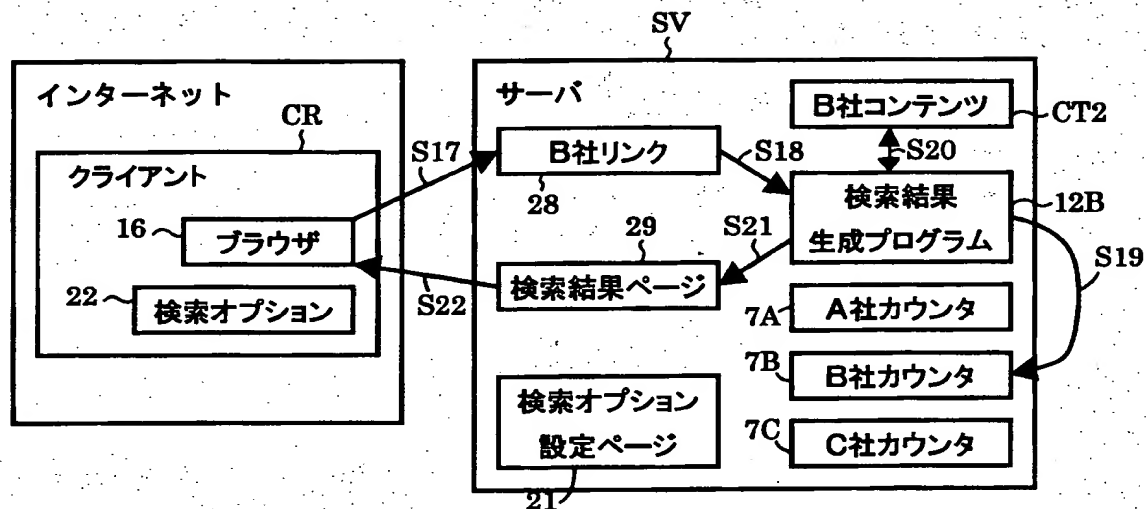


【図 1 0】

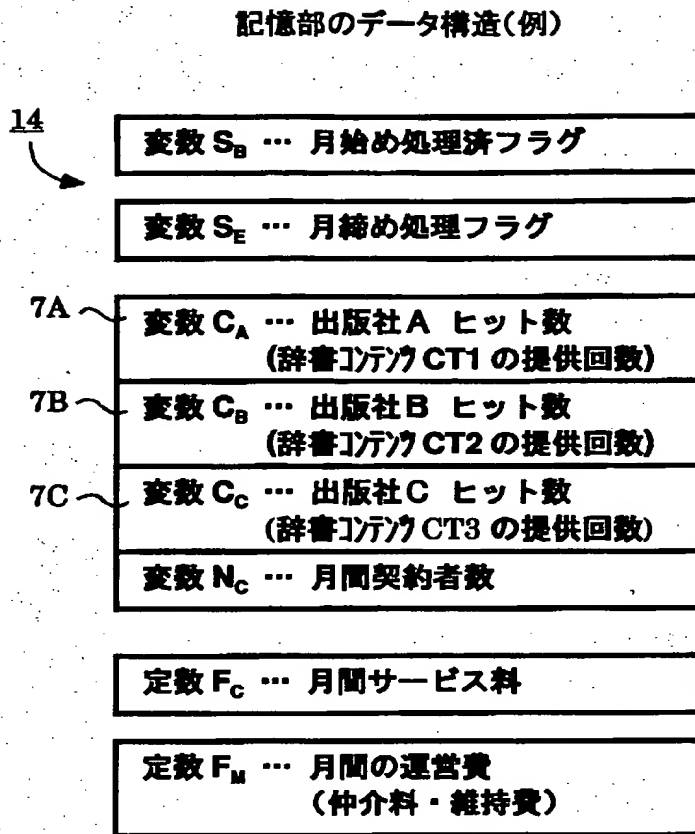


【図 1 1】

検索結果要求の説明図

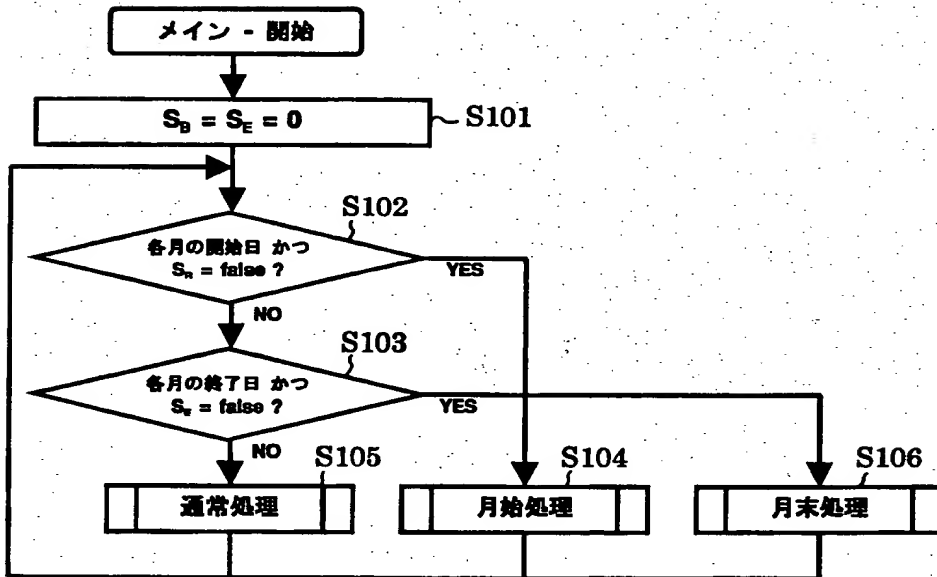


【図 1 2】



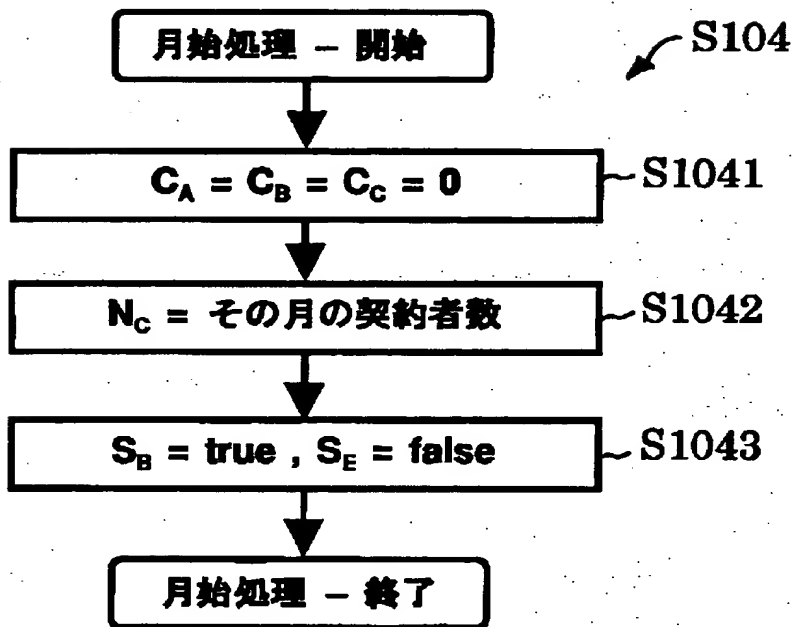
【図 13】

メインルーチンを示すフローチャート

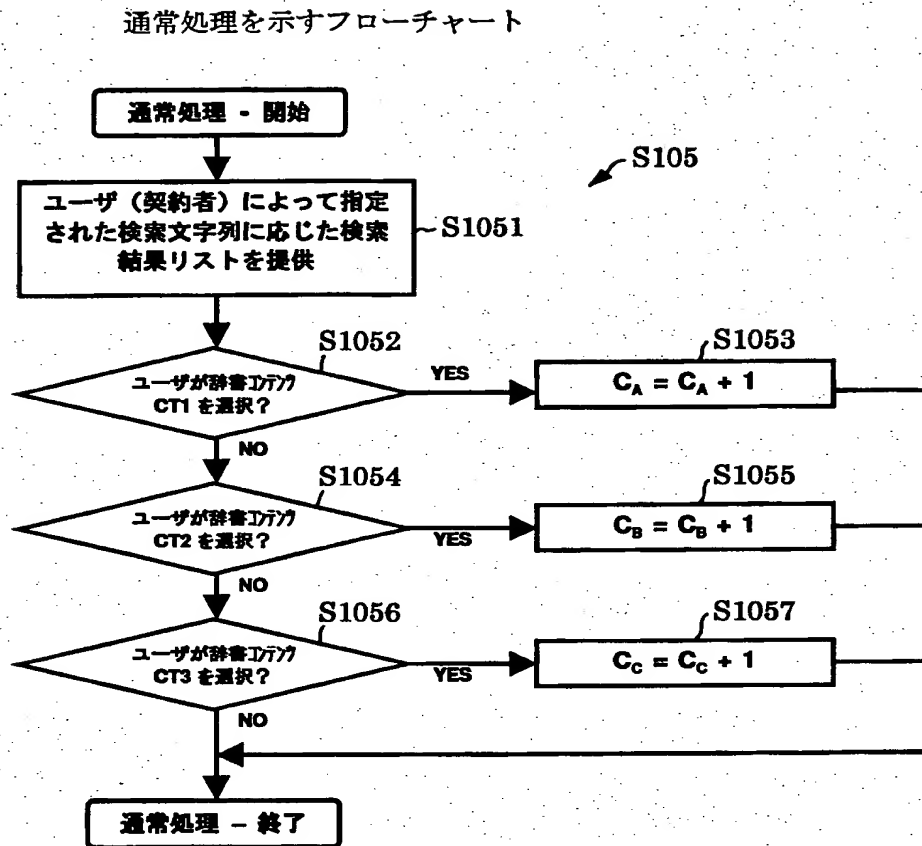


【図 1 4】

月始処理を示すフローチャート

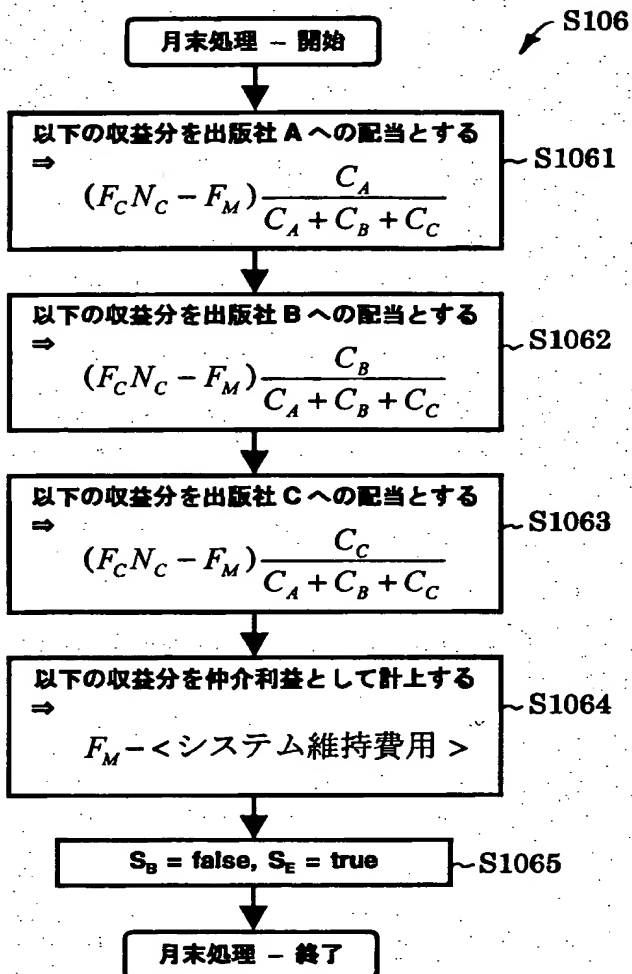


【図 15】



【図 16】

月末処理を示すフローチャート



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 複数の提供者から提供された複数のサービスをユーザに仲介することに関する収益を各提供者に不満なく配分できる収益分配装置を提供する。

【解決手段】 本発明は仲介サービスの収益を分配する装置であって、複数の提供者から提供された複数のサービスをユーザに仲介する仲介サービスを所定期間運営した場合に得られる収益のうち前記複数の提供者に分配すべき分配対象金の額を記憶した記憶部と、前記記憶部に記憶された分配対象金の中から各サービスに割り当てられる分配金の額を、前記所定期間における各サービスの提供の頻度に基づいて夫々算出する算出部とを含む。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社